



九州支部

1. 48年活動報告

48年の九州支部の活動は下記の二つに分けられる。

(1) 48年秋季研究発表会福岡開催

運営委を中心に、発表会についての計画、運営を行なったが、いちばん問題になったのは、“発表会当日の運営、業務責任をどうきめて実行するか”ということであった。結局会場別の運営を九州の各企業別にわけて実施したが、好評のようであった。

以下活動経過を記す。

47.11 48年秋季大会福岡開催について資金、人材面等のバックアップ体制を協議。

48. 3 大会業務についての基本的姿勢。

48. 4 学会本部と大会運営についての打合せ。

大会準備スケジュール決定。

48. 5 秋季大会に関する基本方針。

48. 8 秋季大会に関する決定。

ト部理事来福 準備状況懇談。

48. 9 プログラム編成会議。

48.10 当日の運営と業務分担

機器準備とレイアウト会議

当日の運営担当者会議

48.11 秋季研究発表会開催

(2) 研究会

九州OR共同研究会

48. 5.16 九州電力

オンライン処理効率化のための待合せ理論の適

用について(九電)

火力発電所建設工事におけるPERT手法による
工程管理について(九電)

48. 8.24 新日鉄化学

受払設備の能力検討(新日鉄化学)

戸畑製造所における整備システム(新日鉄化学)

48.11.27 安川電機

オペレーション・スケジュールにおけるOR手
法の適用(安川電機)

シャフトライン集約による生産性向上(安川電
機)

49. 2.27

クラスター分析法によるライフ・スタイルの研究(RKB 毎日)

事務集中処理システムについて

福岡OR研究会 年4回開催

2. 49年活動計画

(1) 九州OR共同研究会、福岡地区OR研究会を
それぞれ年4回開催する。

(2) 支部報“OR九州”の復刊——発刊を中断し
ていた“OR九州”を復刊し、各会員とのきずなに
したい。

(3) その他九州のOR活動を活発にするため、
企画担当幹事をおき、具体策を計画中である。

3. 支部役員の変更

運営協議員は、49年度から堀川映二氏(九州工大
教授)、棕宏章氏(日本IBM)が退任され、新たに
浅野長一郎氏(九大教授)、須永照雄氏(九大教授)
が選任されました。(吉村 記)